



●鹿公園の散策路。森林浴が楽しめる。



電線埋設により電柱のない美しい家並みを実現。  
日本最古の保健保安林「鹿公園」が目の前。  
ゆとりの敷地で、ガーデニングも広々充実。  
四季を感じながら楽しむ生活——



定年後の第二の人生。  
ここはまさに人生を豊かにしてくれる場所！



**藤木 敏・潤子**ご夫婦  
平成 14 年 神奈川県箱根より移住。  
ご夫婦とも九州の生まれ育ち。  
ご主人は、園芸関係や拓本をはじめ、自分  
で物を作ることが趣味・得意。  
奥さんは、「ラ・ラ・タウン・おいわけ」  
が大のお気に入り。



「九州で生まれ育った私たちは、会社で働き始めてから全国を転勤し、ここに移り住む前は神奈川県に住んでいたんです。第二の人生として、この安平町に住むことを決めたのは、北海道へ訪れたときに、飛行機の窓から見た雄大な景色に魅かれたから。(笑) それに、妻も老後は雄大で豊かな自然の中でゆっくりと過ごしたいと言い続けていたんです。住みはじめて北海道の人々の人柄の良さや気持ちの温かさ、人情味あふれる地域の方々に巡り逢うことができました。この町は自然が本当に豊かで、さらに味の濃い美味しい野菜が食べられる、まさに人生を楽しく豊かにしてくれる場所。年を追うごとに友人も増え、世代を超えてお付き合いの輪が広がっていくのは、この年になってもとても嬉しいものですね！」

避暑を兼ねて、北海道暮らし。  
新千歳空港から近く、アクセスが便利な町！

**鈴木光雄さん**ご夫婦・ご家族  
平成 17 年夏に住宅を建設。  
神奈川県川崎市にも住居があり、安平町にて「二居住」を楽しんでいる。



●住宅雑誌にも紹介されている。

「本州とは比べものにならないほど、夏は本当に涼しく、クーラーなんていらぬ生活ですね。(笑) 主人の仕事の関係で、安平町のとなり、千歳市に数年ほど住んでいたんです。そのときに、北海道の夏は気持ちがいいな～って思っていたら、ちょうどテレビで安平町の「若草団地」のCMを見たんです。すぐに行動に移す性格なので、その団地を見学に行きました。その際に、この「ラ・ラ・タウン・おいわけ」もあると紹介されて。ここは、自然豊かな「鹿公園」も目の前にあるし、電線も地下埋設になっていて、すぐに気に入ったんです。それで、その日のうちにソク購入したんです。(笑) 定年になったらと思っていたんですが、主人の仕事の都合もあって、現在は主に夏の北海道を楽しむ「二居住生活」を実践してます。主人はゴルフ、私は北海道の美味しい野菜やランチを楽しんでいます。町内には病院や診療所もあり、健康診断も受診させてもらっているので助かっています。こちらに来るときには、母も一緒に来て、安平町生活を満喫しているんです。安平町は、新千歳空港からも車で約 20 分ほどと近く、アクセスが便利な町ですね、本州との「行ったり来たり」も気になりませんよ。」

千歳市・恵庭市・北広島市・  
札幌市も通勤圏内。  
保育園・幼稚園・小学校・  
中学校・高校と安心して子  
育てができる教育環境と自然  
に恵まれた住宅地——



「ラ・ラ・タウン・おいわけ」同様、新千歳空港まで車で約 20 分、道東自動車道インターチェンジまで車で約 5 分、JR も室蘭本線・石勝線が乗り入れており、交通アクセスが恵まれた住宅地。教育施設、公共施設、スポーツ施設などが充実。